

# 社会空間としての 富山こすぷれフェスタ 2017

11410045 金山 祥佳

## はじめに

・近年では各地でアニメやコスプレに関するイベントが行われている。

従来の研究 = <観光的アプローチ>

山村 (2008)

日本のアニメが国境を越えて旅行行動を誘発している事例は増加している。アニメ作品のロケ地またはその作品・作者に関連する土地で、かつファンによってその価値が認められている場所のことは「アニメ聖地」と呼ばれており、全国から多くのファンが押し寄せている。

張 (2016)

アニメ・コスプレイベントであるTOYAKOマンガ・アニメフェスタを事例に、これらのコンテンツツーリズムは、イベントツーリズムなどポップカルチャーイベントをめぐるダイナミックな観光の在り方を示すことを明らかにしている。

⇒そこに集まる集団については十分に議論されていない

## 既存研究

吉見 (1987) は「『盛り場』とはまず〈出来事〉としてあるものであり、恒常的に多数の匿名的な人々が盛っていることであって、こうした「こと」を取り囲んでいる諸施設ではない。」と述べている。盛り場という語は**祭事的な意味合いを強く含むもの**として捉えられる



コスプレを楽しむ人が集まるこすぷれフェスタもある種の**盛り場**と捉えることができる

杉山 (1999) は富山県富山市「駅前」地区を事例として盛り場という空間とそこ集まる人々を、社会空間という概念を用いて考察している。集団へ手書き地図での調査とインタビューでの調査を行い、その結果に基づく議論により、駅前に集まる若者という社会集団、彼らの「主観的社会空間」、それへの愛着を明らかにしている。

盛り場として捉え、来場者が与えられた空間をどのように利用し、集団の間で生まれている社会関係と空間にどのような意味を付与しているかを明らかにする

## 既存研究

田川 (2009)

オタクの分析をする際**男女を分けて考えることが効果的**

**男性オタクと女性オタクは全く異なった様相**をしているため、二つを非対称に考えねばならない

照井 (1995)

盛り場にジェンダーの考えを用いて検討している。男女の盛り場の空間の認識の仕方の違い、場の読み方の違いを明らかにし、ジェンダーの観点の有効性を示す

男女によって空間のとらえ方にどのような違いがあるか  
分析する必要がある

## 研究目的・調査方法

### 目的

●こすぷれフェスタ来場者が与えられた空間をどのように利用し、集団の間で生まれている社会関係と空間にどのような意味を付与しているか検討する

- 「コンテキストとしての場所」の記述をすることで空間と集団が相互に及ぼす影響を明らかにする
- 分析の際にジェンダーの観点を導入し、同じ空間での男女における空間の読み方の差を検討していく。

### 方法

●こすぷれフェスタ来場者へ聞き取り調査  
期間：富山こすぷれフェスタ(9月3日・4日)の2日間  
回答者：富山こすぷれフェスタの来場者(男女89人)

●こすぷれフェスタ運営組織への聞き取り調査

## 調査対象概要

### 富山こすぷれフェスタ2017

北陸最大のコスプレイベントとして、富山市民プラザを中心にコスプレロケーション・その他声優イベントなどを展開。2017で7回目となる。

市民プラザを中心に南北に伸びた広いコスプレ回遊エリアが特徴



富山こすぷれフェスタの様子(HPより)



こすぷれフェスタ2017コスプレ回遊可能エリアの範囲 (HPより)

## 調査結果

	10代	20代	30代	40代	総計	
女		13	65	2	80	
コスプレ		8	63		71	
カフェ横りに寄った			1	1	2	
写真撮影				1	1	
通りがかり		2			2	
観覧		1	1		2	
声援と一くしよー		2			2	
男			3	5	1	9
カメラ撮影			3	5	1	9
総計		13	68	7	1	89

## 調査結果

### コスプレイヤー

- 20代社会人の女性が多い  
⇒お金に余裕があり、子育てなどが始まっていない年齢
- 71人中28人は初参加

職業	人数	何回目か	人数	居住地	人数
社会人	35	初	28	富山	41
会社員	18	2回目	11	石川	24
大学生	13	3回目	12	神奈川	2
専門学校生	3	4回目	3	東京	2
短大	1	6回目	2	福井	1
高校生	1	8回目	2	新潟	1
		無回答	13		
総計	71	総計	71	総計	71

### カメラマン

- 20代～50代まで幅広い世代の男性
- 富山に住んでいる人が多く男性は1人または、5人以上のグループで行動  
⇒こすフェスで知り合いを作る

職業	人数	何回目か	人数	居住地	人数
社会人	9	初	1	富山	9
会社員	1	3回目	4	名古屋	1
		4回目	3		
		8回目	1		
		無回答	1		
総計	10	総計	10	総計	10

## 調査結果

### ●市民プラザとその周辺



- 一番人が集まる場
- 入口周辺は7人のカメコグループが占拠し、コスプレイヤーが挨拶に来る
- フォトスポット周辺には女装のコスプレイヤーが存在し、カメラマンが撮影

コスプレイヤーとそのほかの人の「出会いの場」



## 調査結果

### ●市民プラザ前～城址公園付近



- 男装した女性のコスプレイヤーグループが多数存在している
- 同じ作品のコスプレ仲間が集まり名刺交換をする様子が見られた

コスプレイヤー同士の交流の場



## 考察

コスプレイヤー＝社会人女性が多い

「ストレスがたまるとアイドルをやりたいくなる。こすフェスは仕事をしている自分を忘れられる場所。コスプレしている時が私たちのオフ。」(20代・女性)  
「大学生の時ほどなかったけど社会に溶れて始めた。周りを気にせずこの格好をできるのが最高のストレス発散。」(20代・女性)

杉山 (1999)

『見知らぬ他人どうしがひしめくことにより人々が匿名性を帯びることが可能な空間がそこにあり学校並びに「共同体として組織された職場や家庭の怪格から解放された人々の自由さが充ちあふれている」空間が、日常の規範を消失させ人々を非日常へと誘う。

こすフェスは自身の変身願望を満たし社会の記号としての自分から解放され周りの人々には打ち明けにくい自身を解放し、それを受け入れる集団との交流によって自身のアイデンティティを再確認する場となっている



## 考察 (1) 劇場としての役割

富山こすづれフェスタ＝劇場

コスプレイヤー

演者&観客

カメラマン・観覧者

観客



## 考察

### コスプレイヤー

「撮影のために声をかけられるのは嬉しいが、長い時間の囲みは嫌い。ローアングルのポーズ指定などもあまり好きではない。」(10代・女性)  
=演技者としての自分を見てほしい

### 認識の差

### カメラマン

「昔はモーターショーのキャンペーンガールの女の子を撮っていた。その延長線でここにも来るようになった。」(40代・男性)  
「好きなキャラに話しかける。ティティールではない。」(30代・男性)  
=コスプレイヤーを性の対象としてみている

## おわりに

### ♀女性コスプレイヤー

現代社会の中に存在する記号としての自分ではない、意味ある別の人になる。それを周りから承認してもらうことで自身のアイデンティティを再構築する場

差

### ♂男性カメラマン

「性の対象」としてのコスプレイヤーに会う、自身が求める様相をとってくれる魅力的な女性に出会うための場

### ♀観覧者

自身にとって好ましい様相をとってくれる「コスプレイヤー=演技者」に会うための場

## おわりに

### ゴッフマン (1980)

「共存」の十分条件

「お互いに見ている、見られている」という感覚を共有しているということ

### 照井 (1995)

「見る」性=男性と「見られる」性=女性という一方通行性の関係

しかしコスフェスの主役はコスプレイヤーたち

コスフェスは「見る」人、「見られる」人の関係によって築かれた共存関係を持ち、従来の盛り場のジェンダー要素を含みながら、女性が主体となった社会空間

## 参考文献

### 【参考文献】

- ・杉山和明 1999. 社会空間としての夜の盛り場—富山市「駅前」地区を事例として—。人文地理, 51 (4) : 396 - 409.
- ・徳藤 2016. コンテンツツーリズムとしてのポータルチャイイベント: TOYAKO マンガ・アニメフェスタの事例を通して。International Journal of Contents Tourism, 1 (2) : 45 - 52.
- ・山村高樹 2008. アニメ聖地の成立とその展開に関する研究: アニメ作品「らき☆すた」による埼玉県鶴岡市の誘客誘致に関する一考察。国際広義メディア・観光学ジャーナル7 : 145 - 164.
- ・田川 隆博 2009. オタク分析の方向性。名古屋文理大学紀要 9 : 73 - 80.
- ・高野俊哉 2007. 『都市のドロマドカルキー』弘文堂
- ・藤井昭希 1995. 盛り場とジェンダー。日本都市社会学会会報 13 : 69 - 82.
- ・高井綱 2016. E コッフマンの「social occasion」概念の分析。早稲田大学院教育学研究紀要 24 : 71 - 79.
- ・アーヴィング・ゴッフマン著 丸木恵祐・本名直行訳 1980. 『ゴッフマンの社会学4 集まりの構造—新しい日常行動論を求めて』誠信書房

### 【参考資料】

- ・富山こすぷれフェスタ2016実施報告書
- ・富山こすぷれフェスタ2011~2017告知チラシ
- ・株式会社富山市民プラザ平成22~27年度事業報告書<http://www.city.toyama.toyama.jp/index.html> (2018年2月10日 確認)
- ・富山こすぷれフェスタ2017ホームページ <http://www.toyamacofes.com/> (2018年2月10日 確認)
- ・コスプレイヤーズアークアライブホームページ <http://www.cosp.jp/index.aspx> (2018年2月10日 確認)
- ・富山こすぷれフェスタ公式Twitter [https://twitter.com/TCF\\_staff](https://twitter.com/TCF_staff) (2018年2月10日 確認)
- ・Cure world cosplayホームページ <https://worldcosplay.net/jp/> (2018年2月10日 確認)